



Close up

令和6年度 婚姻者に対する記念植樹式

さくらの植樹に幸せを誓う

晴 天に恵まれた4月20日、婚姻者に対する記念植樹式が、追分地区にある長者の原「結婚の森」で行われました。

これは、結婚を祝って村の木である「さくら」の記念植樹を行うもので、今回対象となったのは、令和5年度中に婚姻の届出をした村内在住の9組のうち、希望した4組の夫婦の参加により開催されました。

植樹には、寒さに強いオヤマザクラが用意され、参加した夫婦は協力し合い、幸せを誓って植樹を行いました。今回の植樹には、村議会議員など、およそ20人が4組の夫婦とともに桜の植樹を行いお祝いしました。

結婚の森には、800本を超える桜の木が植えられています。平成13年から数えると175組の夫婦によって続けられ、何年後かには千本桜と呼ばれることでしょう。

村の木である「さくら」に彩られ、結婚の森が春の名所になることが期待されます。

